


2025年度 連結決算説明資料

2026年5月12日

HIRANO TECSEED

- **就任のご挨拶**
- **決算ハイライト**
- **2025年度実績**
- **2025年度セグメント別実績**
- **2026年度見通し**
- **参考資料**

社名	株式会社ヒラノテクシード
代表者	取締役社長：安居 宗則
資本金	1,847,821千円（2026年3月末時点）
所在地	奈良県北葛城郡河合町大字川合101番地の1
グループ会社 (出資比率100%)	ヒラノ技研工業株式会社、株式会社ヒラノK&E、HIRANO AMERICA,INC.
従業員数	315名（連結：417名）（2026年3月末時点）
銘柄コード	6245（機械）

A grayscale image of the moon's surface, showing craters and lunar terrain. A white horizontal band is overlaid across the center of the image, containing the Japanese text '就任のご挨拶'.

就任のご挨拶

持続的な企業価値向上に向けて

平素より当社の事業活動に対し多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。本年4月に代表取締役社長に就任いたしました、安居でございます。

私は当社において、主に製造分野を中心にキャリアを重ねてまいりました。生産現場における生産性向上、品質改善、設備投資の推進に加え、原価構造やサプライチェーン全体を見据えた取り組みに従事し、当社の競争力の源泉である「技術力・現場力」の強化に取り組んでまいりました。

引き続き専門性の高い人材を育成し、高い技術力と人間性を兼ね備えた組織づくりを通じて、持続的な企業価値向上を実現していきます。また、設計・調達・製造のすべての工程において次工程を意識し、最終工程である「お客様」にとって、使いやすく、精度・信頼性の高い装置を提供することを重点といたします。

社長就任にあたり、取締役会からは、現場力を強みにしつつ、収益性・資本効率の向上と、組織・ガバナンス基盤のさらなる強化を進めることが期待されていると認識しております。

今後も、生産性や品質の継続的な改善、規律ある投資判断、人材および組織への中長期的な投資を通じて、安定的かつ持続的な成長を目指してまいります。

株主・投資家の皆さまとの対話を重視し、透明性の高い経営に努めてまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社ヒラノテクシード
代表取締役社長 安居宗則

収益源の多様化、費用構造改革

01 事業ポートフォリオの最適化

当社の強みは、ロールtoロール技術を核とした高い塗工技術と、その汎用性にあります。これまで、携帯端末、ディスプレイ、リチウムイオン電池など、数多くの先端分野において、新製品誕生の初期段階からお客様と共に技術開発を進めてきました。現在はエネルギー関連分野の比率が高いものの、今後は当社技術の横展開を加速させ、事業ポートフォリオの最適化による安定的な成長を図ります。

02 スtockビジネスの強化

熟練保全技術者の高齢化、ESG・環境対応から設備の長寿命化ニーズの高まりを受け、アフターサービス・メンテナンス事業を重要な収益基盤と位置づけています。営業部門とカスタマーサポート部門の連携を強化し、計画的かつ効率的なサービス提供を推進します。

03 成長分野への投資

成長分野としてペロブスカイト型太陽電池向け製造技術を重点領域と位置づけています。金沢大学との共同研究を通じて確立した独自技術を基に、量産プロセスにおけるデファクトスタンダードの確立を目指します。加えて、スマートファクトリーやデジタルツインなど、製造DX分野においても先行的な取り組みを進めています。

04 費用構造改革

原材料価格の高騰や調達制約といった外部環境の変化に対しては、フロントローディング徹底による仕様確定の早期化、適切な価格転嫁と仕様確定段階でのコスト管理を徹底し、利益確保を図ります。合わせて機械構造見直しによる原価低減を進めます。

組織力強化、生産性向上、株主還元方針

05 組織力強化

設計・製造・生産技術を跨いだモノづくり改革を実現するため専門組織を組成、技術継承と「匠」の育成を促進します。

3D図面、BOM等の知的資産を活用し、AI等導入による創造的集団への転換を図ります。

06 テスト設備の刷新

お客様の新素材開発の鍵となるテスト設備の刷新を図ります。デジタルツイン技術を搭載することにより顧客負担を軽減したテクニカム施設を展開し、テスト効率、成功率を向上することにより、受注確度を高め受注量拡大を目指します。

07 生産設備の再構築

奈良本社工場、木津川工場に精度向上に必要な生産設備等の基盤投資を確実に実行することにより、生産ラインの再構築、人員の再配置を行いさらなる生産効率の向上を目指します。

08 株主還元方針

DOE3.5%または配当性向60%のいずれか高い金額を目安に実施する方針は堅持してまいります。

自己株式の取得については、成長投資に必要な資金を確保しつつ、財務状況や株価水準等を総合的に勘案し、資本効率と株主利益の向上に向けて機動的に実施いたします。

2025年度 通期業績

	実績	前年同期比
売上高	32,285百万円	-16,070百万円 -33.2%
営業利益	1,599百万円	-82百万円 -4.9%
営業利益率	5.0%	+1.5pts
ROE	3.4%	+1.0pts

2026年度 業績予測

	予測	前期比
売上高	25,000百万円	-7,285百万円 -22.6%
営業利益	1,500百万円	-99百万円 -6.2%
営業利益率	6.0%	+1.0pts
ROE	2.8%	-0.6pts

トピックス


2025年度 通期実績

- ✓ EV関連の機械装置の受注量が前年同期比で大きく減少、付帯工事を含む周辺業務の案件数も大幅に縮小
- ✓ 顧客の設備投資計画の見直しにより、複数の案件において総額7,229百万円のキャンセルが発生し受注残高は減少
- ✓ 一部案件において受注条件の見直しが進んだことにより、利益の下振れは一定程度緩和されたものの、他市場での受注量の改善が限定的であった
- ✓ 一部の案件で外注費等が増加したことにより、前回予想を下回る水準となった

2026年度 業績予測

- ✓ EV市場の減速が続いており、定置用蓄電池など車載以外の用途展開を模索する動きが強まっている
- ✓ 北米市場を中心とした外部環境の変化により売上計画を引き下げ、化工関連機器の割合を増やしていく
- ✓ プロジェクト遂行体制見直し、原価管理の徹底、業務プロセス効率化を進め、収益構造改革を実現する

2025年度実績



2025年度 業績実績

(単位:百万円)	24年度	25年度	増減	増減率
	a	b	b-a	(b-a)/a
受注高	33,106	23,605	-9,501	-28.7%
売上高	48,355	32,285	-16,070	-33.2%
営業利益	1,681	1,599	-82	-4.9%
営業利益率	3.5%	5.0%	+1.5pts	-
経常利益	1,894	1,706	-187	-9.9%
経常利益率	3.9%	5.3%	+1.4pts	-
純利益	905	1,313	+407	+45.0%
純利益率	1.9%	4.1%	+2.2pts	-

2025年度 概況

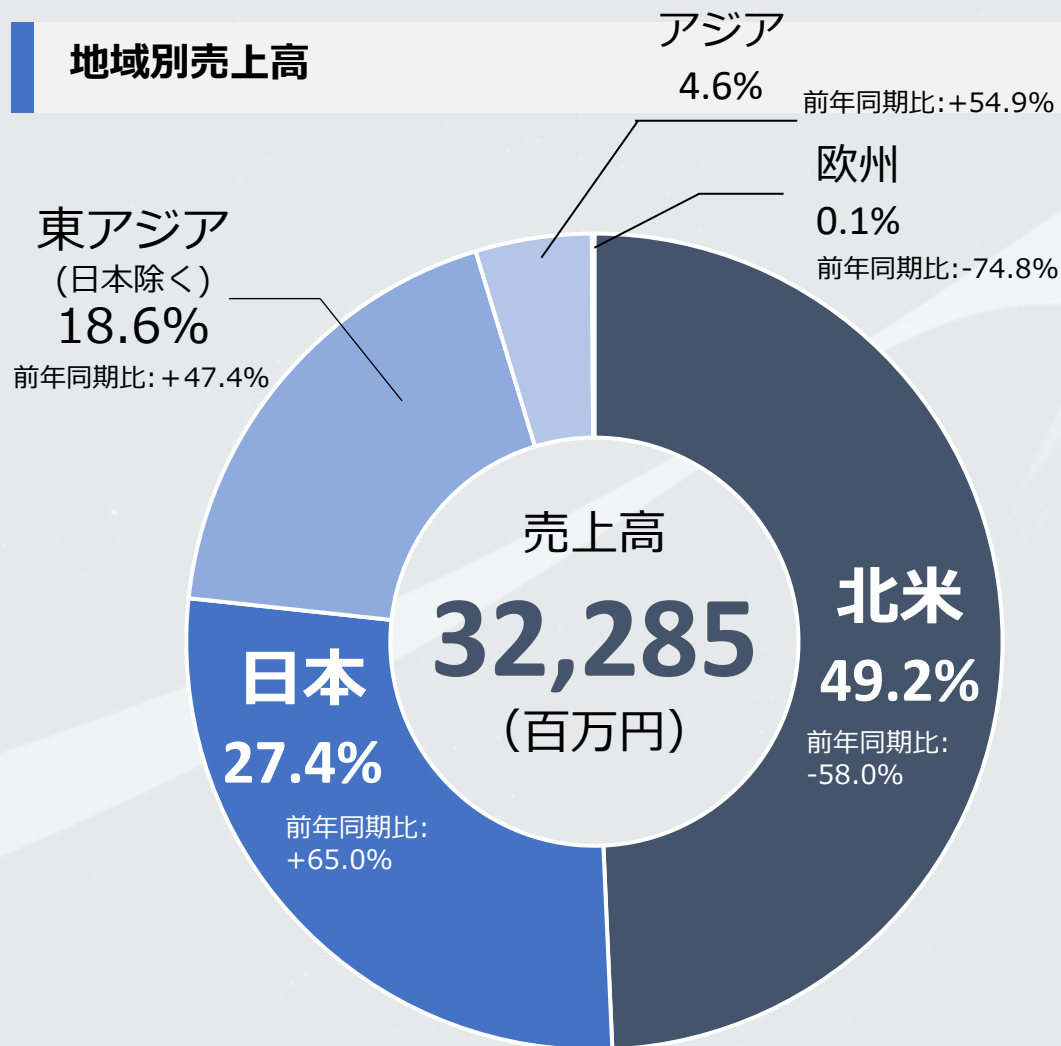
- ✓ 受注高：既存のEV向け機械装置の特需は落ち着き、付随する付帯工事の需要も減少、化工機関連機器で大口受注はあるが全体的な受注量は減少
- ✓ 売上高：塗工機関連機器ではリチウムイオン二次電池向け製品の受注残高消化のほか、納期延期などで工程が停滞していた案件の進捗、付帯工事、国内案件の消化による貢献はあるものの、北米市場を中心とした外部環境の変化により売上計画を引き下げ減収で着地
- ✓ 営業利益：EV市場向け装置の生産が順調に推移し、顧客交渉により仕向地変更に関わる追加費用の一部回収や保留されていた案件の進捗、国内案件の生産消化、受注条件の見直しを進めたことで、営業利益率は改善
- ✓ 経常利益：前年度は一時的な営業外収益が発生していたこともあり、営業利益減少にともない経常利益は減少
- ✓ 純利益：前年度は貸倒引当金繰入額を計上していたこともあり、本年度の純利益は増加

2025年度 セグメント別業績

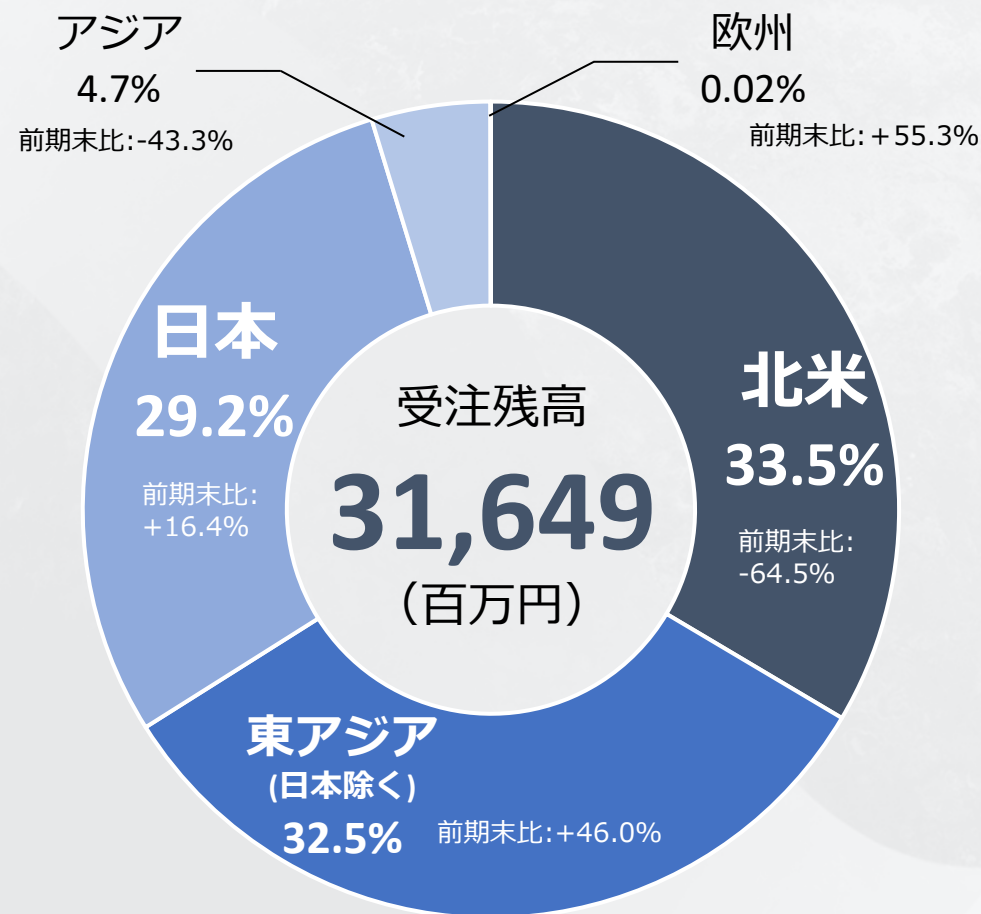
(単位：百万円)		24年度	25年度	増減	増減率
		a	B	b-a	(b-a)/a
塗工機関連機器	受注高	26,596	13,150	-13,445	-50.6%
	売上高	42,020	25,348	-16,672	-39.7%
	セグメント利益 (率)	2,543 (6.1%)	2,554 (10.1%)	+11 (+4.0pts)	+0.5%
化工機関連機器	受注高	5,127	9,196	+4,068	+79.4%
	売上高	4,645	5,478	+832	+17.9%
	セグメント利益 (率)	293 (6.3%)	962 (17.6%)	+668 (+11.3pts)	+227.8%
その他・調整	受注高	1,382	1,258	-124	-9.0%
	売上高	1,688	1,458	-230	-13.6%
	セグメント利益 (率)	271 (16.1%)	-183 (-12.6%)	-454 (-28.7pts)	-
連結合計	受注高	33,106	23,605	-9,501	-28.7%
	売上高	48,355	32,285	-16,070	-33.2%
	セグメント利益	3,108	3,333	+225	+7.2%
	全社費用	1,426	1,734	+307	+21.6%
	営業利益*1 (率)	1,681 (3.5%)	1,599 (5.0%)	-82 (+1.5pts)	-4.9%

*1：報告セグメントに帰属しない一般管理費控除後

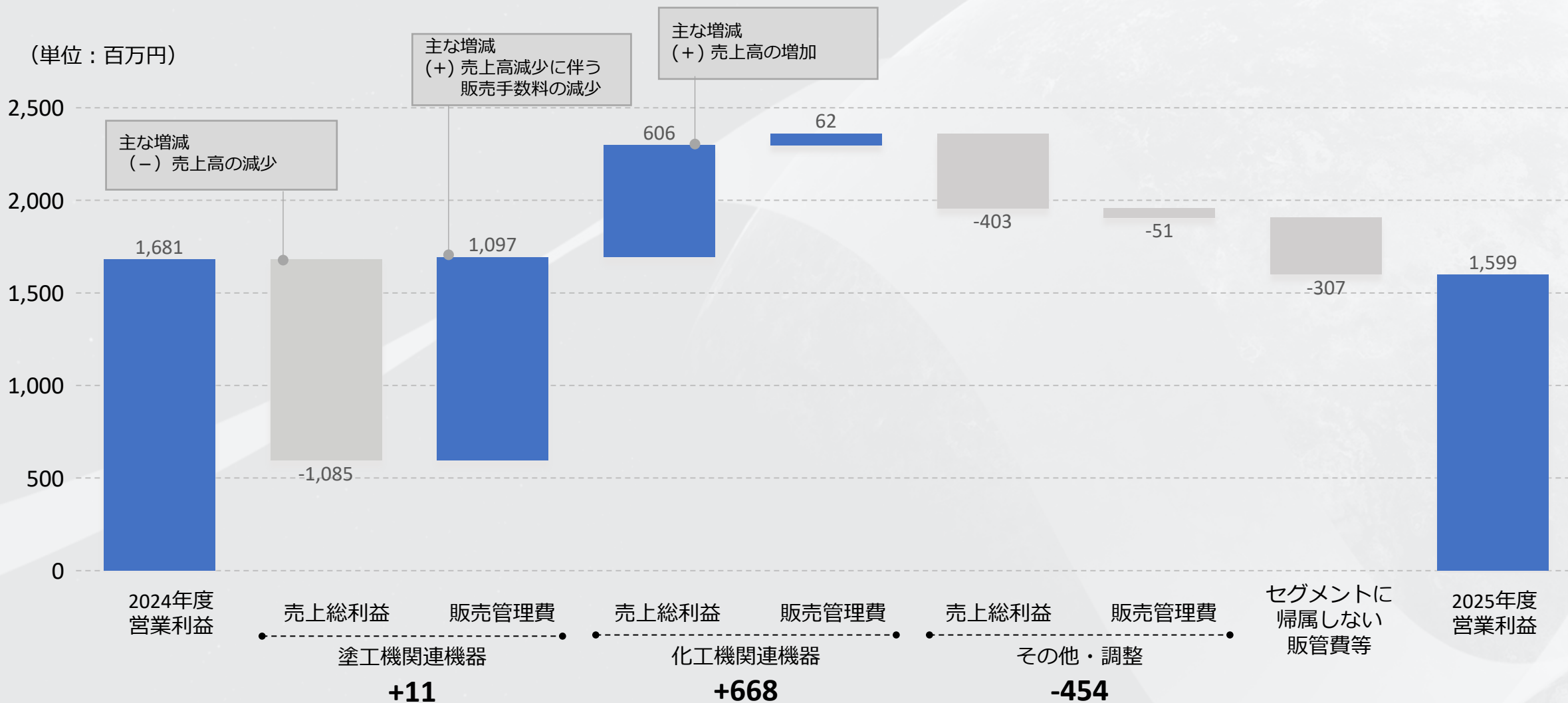
地域別売上高



地域別受注残高



2025年度 営業利益の増減要因



2025年度 貸借対照表

(単位：百万円)	24年度	25年度	増減額
	金額	金額	
流動資産	48,505	42,895	-5,609
固定資産	13,187	14,889	+1,701
有形固定資産	7,437	7,959	+521
無形固定資産	416	372	-44
投資その他の資産	5,333	6,558	+1,224
総資産	61,693	57,785	-3,908
流動負債	22,505	17,019	-5,486
固定負債	947	1,365	+418
純資産	38,240	39,400	+1,159
自己資本比率	62.0%	68.2%	+6.2pts

資産（2024年度末比）

流動資産 5,609百万円減少

- ✓ 現金及び預金が375百万円、有価証券が300百万円増加
- ✓ 売上債権及び契約資産が3,650百万円減少
- ✓ 前渡金が1,607百万円減少
- ✓ 未収消費税が1,086百万円減少

固定資産 1,701百万円増加

- ✓ 有形固定資産が521百万円増加
- ✓ 投資その他の資産が1,224百万円増加

負債（同）

流動負債 5,486百万円減少

- ✓ 支払手形及び買掛金が4,793百万円、電子記録債務が1,134百万円、短期借入金が2,500百万円減少
- ✓ 前受金が2,864百万円増加

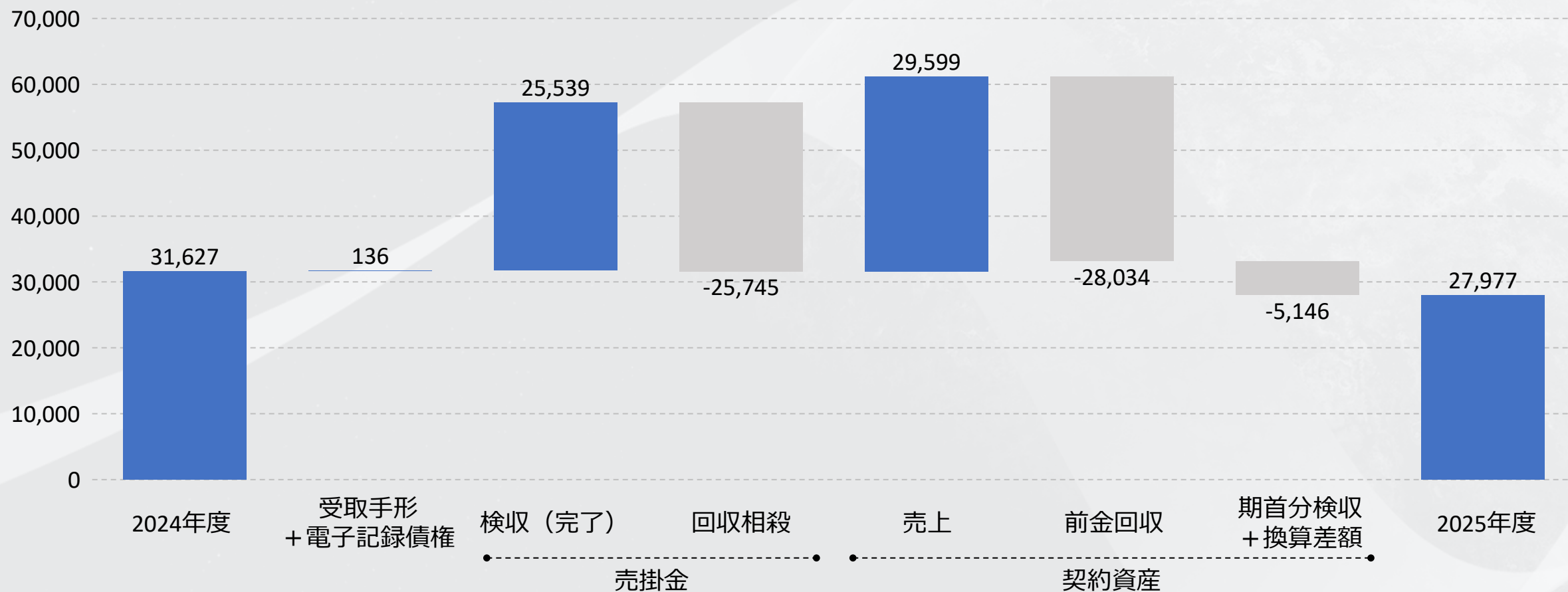
固定負債 418百万円増加

純資産（同）

純資産 1,159百万円増加

受取手形、売掛金及び契約資産 + 電子記録債権の増減

(単位：百万円)

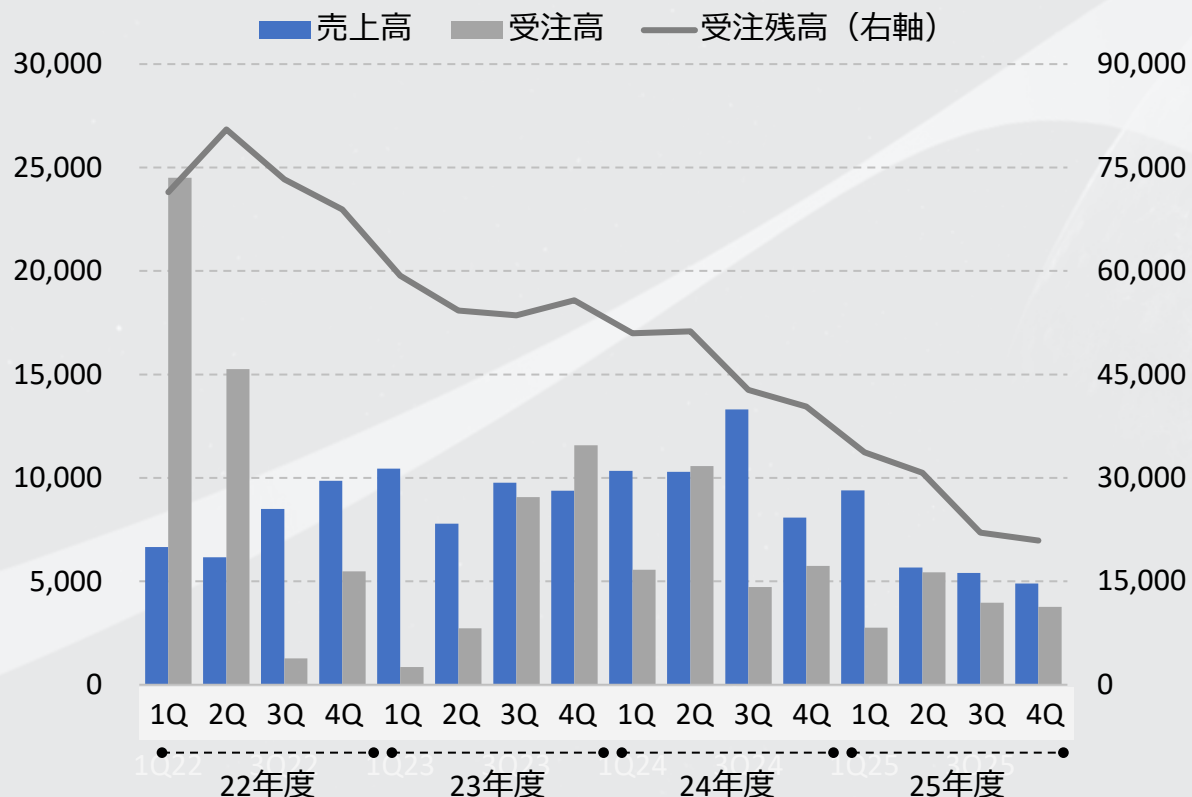


The background features a grayscale image of the Earth and the Moon in space. The Earth is on the left, and the Moon is on the right, both partially visible. A white, semi-transparent rectangular box is centered horizontally and vertically, containing the title text. The text is in a bold, black, sans-serif font.

2025年度セグメント別実績

塗工機関連機器部門の受注残高・売上高・受注高推移

(単位：百万円)



塗工機関連機器部門のハイライト

市場環境

- ✓ 米国の通商政策等の影響はあるものの、米国内への生産回帰の動きは鈍い
- ✓ エネルギー市場においては、定置型蓄電池など一部の市場が今後拡大するとみられるものの、EV市場においては停滞
- ✓ 光学フィルム等の引き合いはあるものの、設備投資に対しては全体的に慎重な動きもみられる

受注高

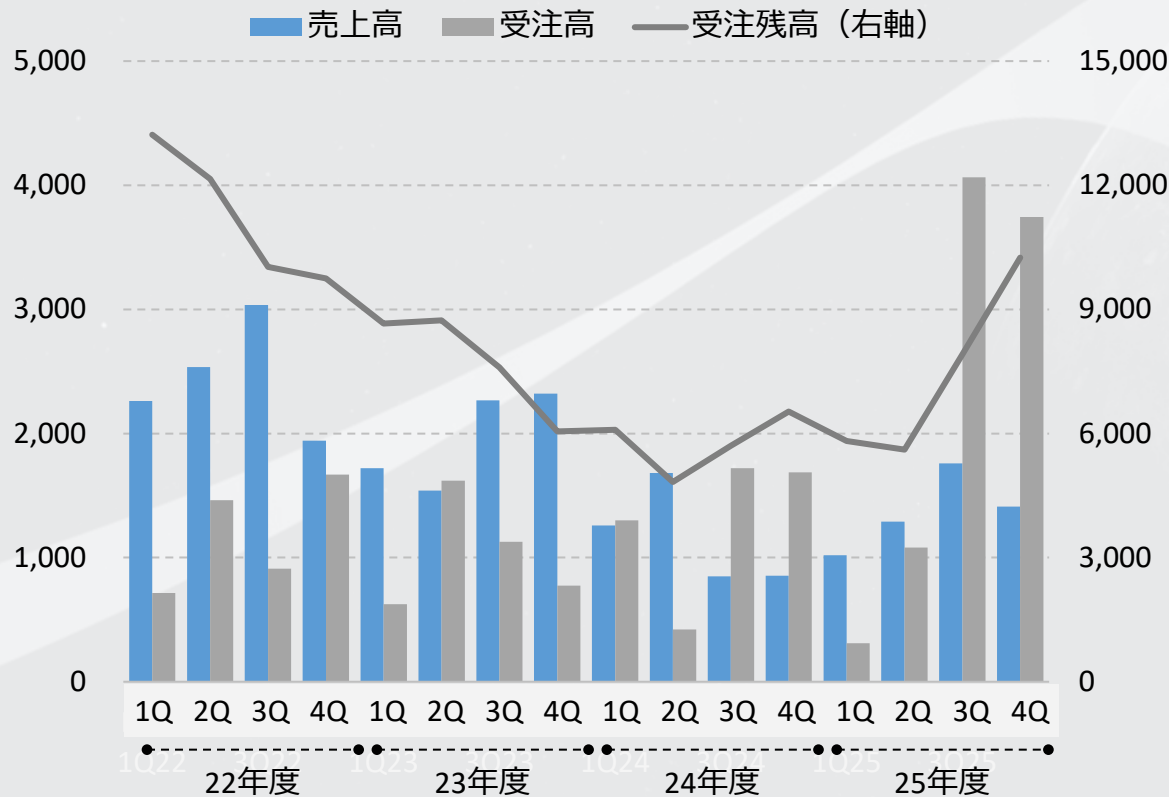
- ✓ 設備投資は様子見の傾向がみられ、装置の受注は厳しい状況が継続しており、顧客要請により所掌範囲を拡大した付帯工事の需要も減少
- ✓ 機械本体以外に納期の短い既設機械の改造や部品受注獲得にも注力

売上高

- ✓ エネルギー関連を中心に、光学フィルム等の受注案件も消化
- ✓ 付帯工事（機械装置の架台や電気工事など）も、受注案件消化が進む

化工機関連機器部門の受注残高・売上高・受注高推移

(単位：百万円)



化工機関連機器部門のハイライト

市場環境

- ✓ MLCCやポリイミドフィルム等の電子材料用途の成膜装置を中心に一定の投資意欲はある
- ✓ 一部石油由来製品の品不足により調達困難な資材が発生しつつある

受注高

- ✓ ポリイミドフィルム用の大型装置、セラミック材料関連向け成膜装置等の受注を獲得
- ✓ 国内や東南アジア、中国地域を中心に新規受注獲得を目指した結果、電子材料向け装置の受注を獲得


売上高

- ✓ 電子材料用途向けの成膜装置を主力としつつも、1Qは生産量が少ない状況が続いた
- ✓ 2QはMLCC向けと産業資材等の生産が売上に貢献
- ✓ 3Qは産業資材、セラミックなどが貢献
- ✓ 4Qは電子材料向けなどが貢献



2026年度見通し

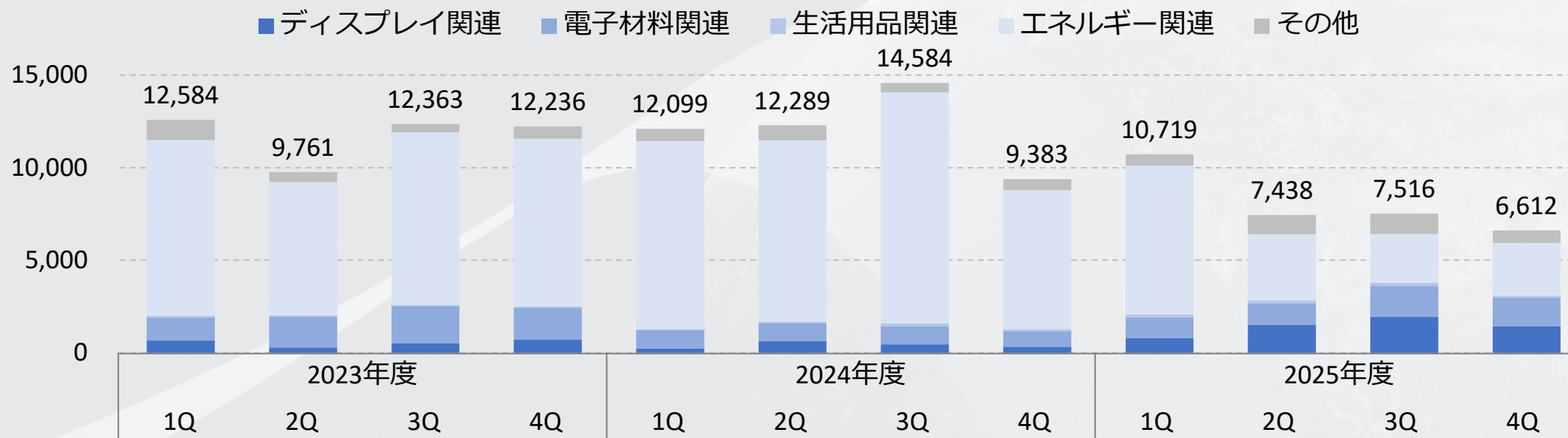
(単位：百万円)	25年度実績	26年度計画	前期比	
	a	b	増減 b-a	増減率 (b-a)/a
売上高	32,285	25,000	-7,285	-22.6%
営業利益	1,599	1,500	-99	-6.2%
営業利益率	5.0%	6.0%	+1.0pts	-
経常利益	1,706	1,600	-106	-6.3%
経常利益率	5.3%	6.4%	+1.1pts	-
当期純利益	1,313	1,100	-213	-16.3%
当期純利益率	4.1%	4.4%	+0.3pts	-
ROE	3.4%	2.8%	-0.6pts	
1株当たり年間配当金	84円	84円	-円	
中間	42円	42円	-円	
期末	42円	42円	-円	

A grayscale image of the moon's surface, showing craters and lunar terrain. A white horizontal band is overlaid across the middle of the image, serving as a background for the text.

參考資料

用途別セグメント① 売上高（四半期ごと）

(単位：百万円)



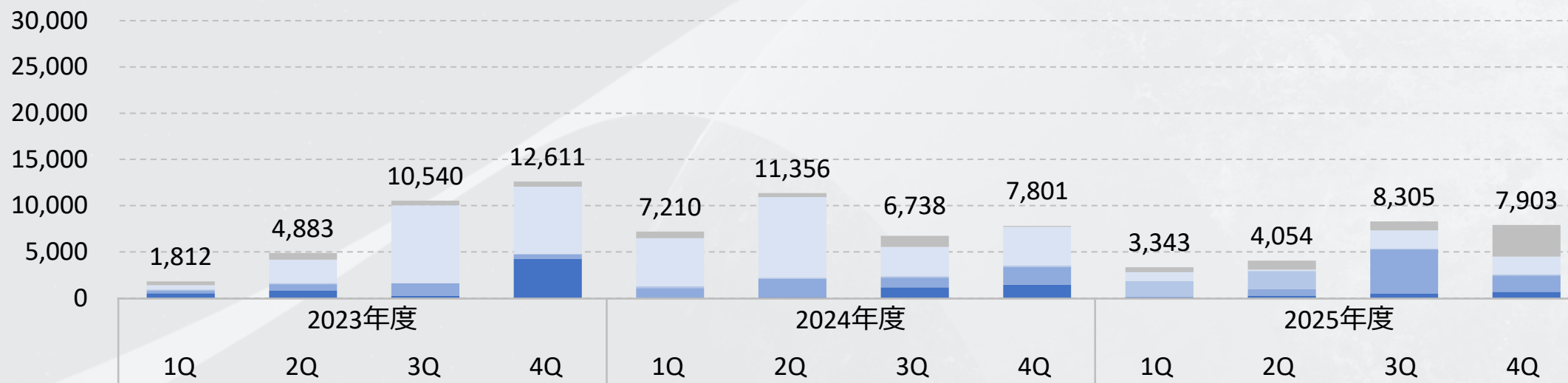
用途別セグメント	2023年度 1Q	2023年度 2Q	2023年度 3Q	2023年度 4Q	2024年度 1Q	2024年度 2Q	2024年度 3Q	2024年度 4Q	2025年度 1Q	2025年度 2Q	2025年度 3Q	2025年度 4Q
その他	8.7%	5.5%	3.7%	5.5%	5.4%	6.6%	3.6%	6.4%	5.7%	13.8%	14.6%	10.2%
エネルギー関連	75.4%	73.8%	75.5%	74.0%	83.9%	79.7%	85.6%	80.1%	75.0%	48.0%	35.2%	43.0%
生活用品関連	0.7%	0.8%	0.4%	0.7%	0.3%	0.7%	1.0%	1.0%	1.5%	2.2%	2.1%	1.8%
電子材料関連	10.0%	16.9%	16.2%	13.9%	8.2%	8.0%	6.7%	8.9%	10.3%	15.8%	22.3%	23.2%
ディスプレイ関連	5.3%	3.0%	4.3%	5.9%	2.1%	5.1%	3.1%	3.6%	7.6%	20.3%	25.9%	21.8%

売上高比率

用途別セグメント② 受注高 (四半期ごと)

(単位：百万円)

■ ディスプレイ関連 ■ 電子材料関連 ■ 生活用品関連 ■ エネルギー関連 ■ その他



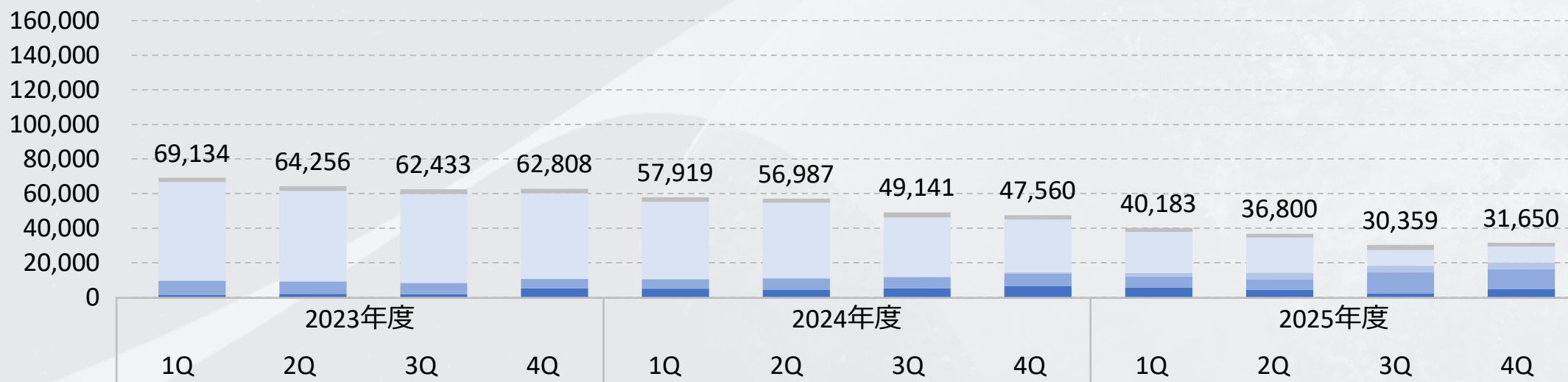
用途別セグメント	2023年度 1Q	2023年度 2Q	2023年度 3Q	2023年度 4Q	2024年度 1Q	2024年度 2Q	2024年度 3Q	2024年度 4Q	2025年度 1Q	2025年度 2Q	2025年度 3Q	2025年度 4Q
その他	23.0%	14.6%	4.7%	4.4%	10.0%	3.9%	17.8%	1.1%	15.8%	23.4%	11.9%	43.1%
エネルギー関連	24.1%	52.2%	79.8%	57.6%	72.3%	76.5%	47.0%	53.5%	28.3%	4.0%	23.5%	24.1%
生活用品関連	6.5%	2.1%	0.3%	0.4%	2.4%	1.2%	2.4%	2.2%	49.5%	48.8%	1.4%	1.7%
電子材料関連	16.3%	13.7%	12.8%	3.9%	15.2%	17.7%	15.5%	24.7%	3.6%	16.9%	57.3%	22.5%
ディスプレイ関連	30.1%	17.4%	2.4%	33.7%	0.1%	0.7%	17.3%	18.5%	2.8%	6.9%	6.0%	8.6%

受注高比率

用途別セグメント③ 受注残高（四半期ごと）

(単位：百万円)

■ ディスプレイ関連 ■ 電子材料関連 ■ 生活用品関連 ■ エネルギー関連 ■ その他



	2023年度	2024年度	2025年度									
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受注残高比率												
その他	3.6%	4.1%	4.3%	4.1%	4.6%	4.0%	6.0%	5.1%	5.9%	6.2%	7.1%	15.5%
エネルギー関連	82.2%	81.2%	82.1%	78.7%	76.8%	76.2%	69.4%	64.7%	58.9%	55.0%	40.6%	36.0%
生活用品関連	0.4%	0.5%	0.4%	0.4%	0.6%	0.8%	0.9%	1.1%	5.0%	10.4%	12.5%	12.1%
電子材料関連	11.7%	11.0%	10.3%	8.3%	9.2%	11.1%	13.0%	15.7%	16.2%	16.4%	30.0%	29.5%
ディスプレイ関連	2.2%	3.2%	2.9%	8.5%	8.8%	8.0%	10.7%	13.4%	14.0%	12.0%	9.8%	7.0%

本資料は情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。

このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性及び公正性を保証するものではなく、当社は掲載された情報またはデータの誤りまたは不正確に関しまして、一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。予告なしに内容が変更または廃止される場合があります。

2026年5月12日

この資料に関するお問い合わせは

株式会社ヒラノテクシード コーポレート部門(TEL0745-57-0681)まで